

-なぜ今、**教育DX**が必要なのか？-

「育成は後回し」の組織が陥る

3つの落とし穴



株式会社FCE トレーニング・カンパニー事業本部



会社概要

社名 株式会社FCE

住所 〒163-0810 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル10F



ミッション 「主体性」×「生産性」で人的資本の最大化に貢献する



株式会社FCEは2022年10月27日に東証スタンダードに新規上場いたしました。

FCEグループは2013年から13年連続で、Great Place to Work®「働きがいのある会社」ランキングでベストカンパニー、2021年/2023年アジア地域における「働きがいのある会社」ランキングでもベストカンパニー入りを果たしました。

当社は、「ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）」の国際規格「ISO 27001:2022」の認証を取得しています。



本日のプログラム内容



-なぜ今、**教育DX**が必要なのか？-

「育成は後回し」の組織が陥る**3**つの落とし穴

- 1 認識のズレ？
- 2 教育DX3つの落とし穴
- 3 セレンディピティ
- 4 教育とは・・・
- 5 ご案内



なぜ人財育成をするのか？

今よりも少しでも成果(生産量)を向上させるため

質 × 量



世界の労働生産性上位10か国

就業者一人当たりの労働生産性 上位10か国の変遷

	1970年	1980年	1990年	2000年	2010年	2020年	2022年
1	米国	オランダ	ルクセンブルク	ルクセンブルク	ルクセンブルク	アイルランド	アイルランド
2	ルクセンブルク	ルクセンブルク	米国	米国	ノルウェー	ルクセンブルク	ノルウェー
3	カナダ	米国	ベルギー	ノルウェー	米国	米国	ルクセンブルク
4	オーストラリア	ベルギー	イタリア	イタリア	アイルランド	ベルギー	米国
5	ドイツ	イタリア	ドイツ	イスラエル	スイス	スイス	スイス
6	ベルギー	アイスランド	オランダ	ベルギー	ベルギー	ノルウェー	ベルギー
7	スウェーデン	ドイツ	フランス	スイス	イタリア	デンマーク	デンマーク
8	ニュージーランド	カナダ	アイスランド	アイルランド	フランス	フランス	オーストラリア
9	イタリア	オーストラリア	オーストラリア	フランス	オランダ	オーストラリア	イタリア
10	アイスランド	フランス	カナダ	オランダ	デンマーク	オランダ	フランス
-	日本(20位)	日本(20位)	日本(13位)	日本(20位)	日本(21位)	日本(29位)	日本(31位)

(出典)公益財団法人日本生産性本部、労働生産性の国際比較より



世界の労働時間比較

米国

1970年 8.1h/日
2022年 7.5h/日

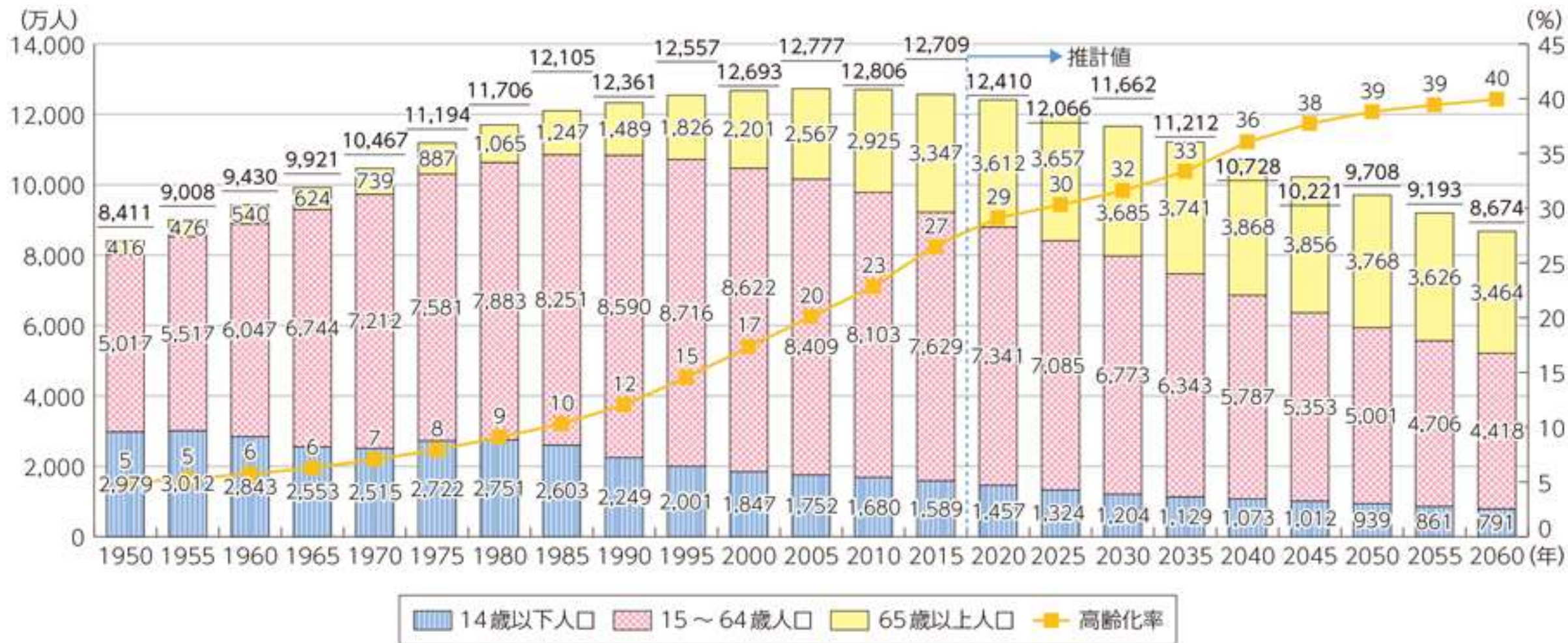
日本

1970年 9.4h/日
2022年 6.7h/日

(注) Employment Outlookベースのこのデータは、各国の時系列把握のために作成されており、厳密には資料の違いから特定時点の国際比較には適さない。フルタイマー、パートタイマー、自営業を含む。ドイツ1990年以前は西ドイツ。日本(労働力調査)は非農林業雇用者の週間就業時間の年間換算値(×52.143)。
(資料) OECD.Stat 2023.7.23(一部旧データ)、総務省統計局「労働力調査」



日本の人口推移



(出典)2015年までは総務省「国勢調査」(年齢不詳人口を含む)

2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」(出生中位・死亡中位推計)



日本の生産年齢人口推移

1995年 8,716万人

2025年 7,170万人 ▲1546万人 年間▲51万人

2030年 6,875万人 ▲295万人 年間▲59万人

2040年 5,978万人 ▲897万人 年間▲90万人

2050年 5,275万人 ▲703万人 年間▲70万人

(出典)2015年までは総務省「国勢調査」(年齢不詳人口を含む)

2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」(出生中位・死亡中位推計)



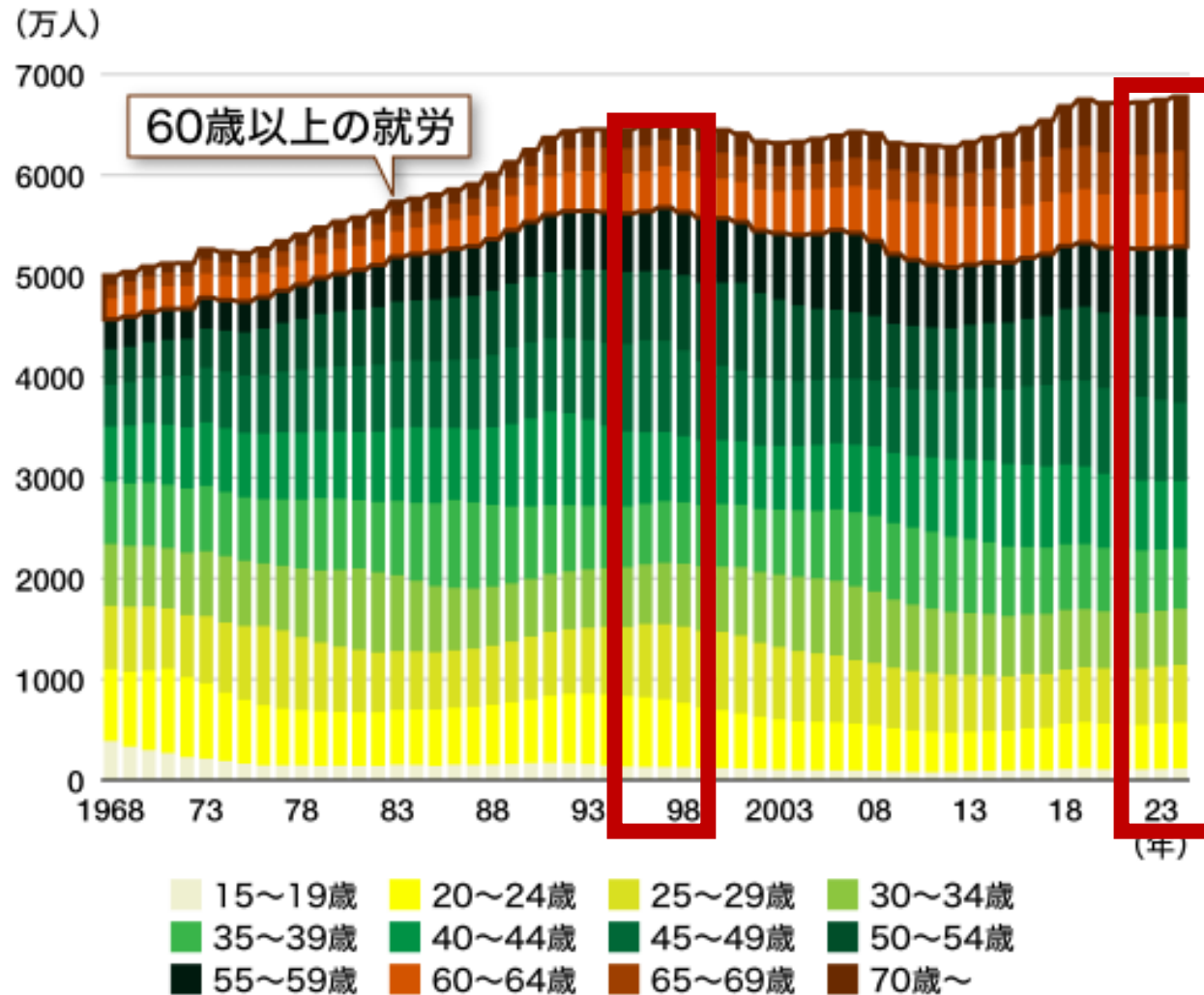
生産年齢人口が減＝労働人口も減？

この認識がズレている？可能性があります



ここ30年の労働人口

年齢階級別の就労者数の推移



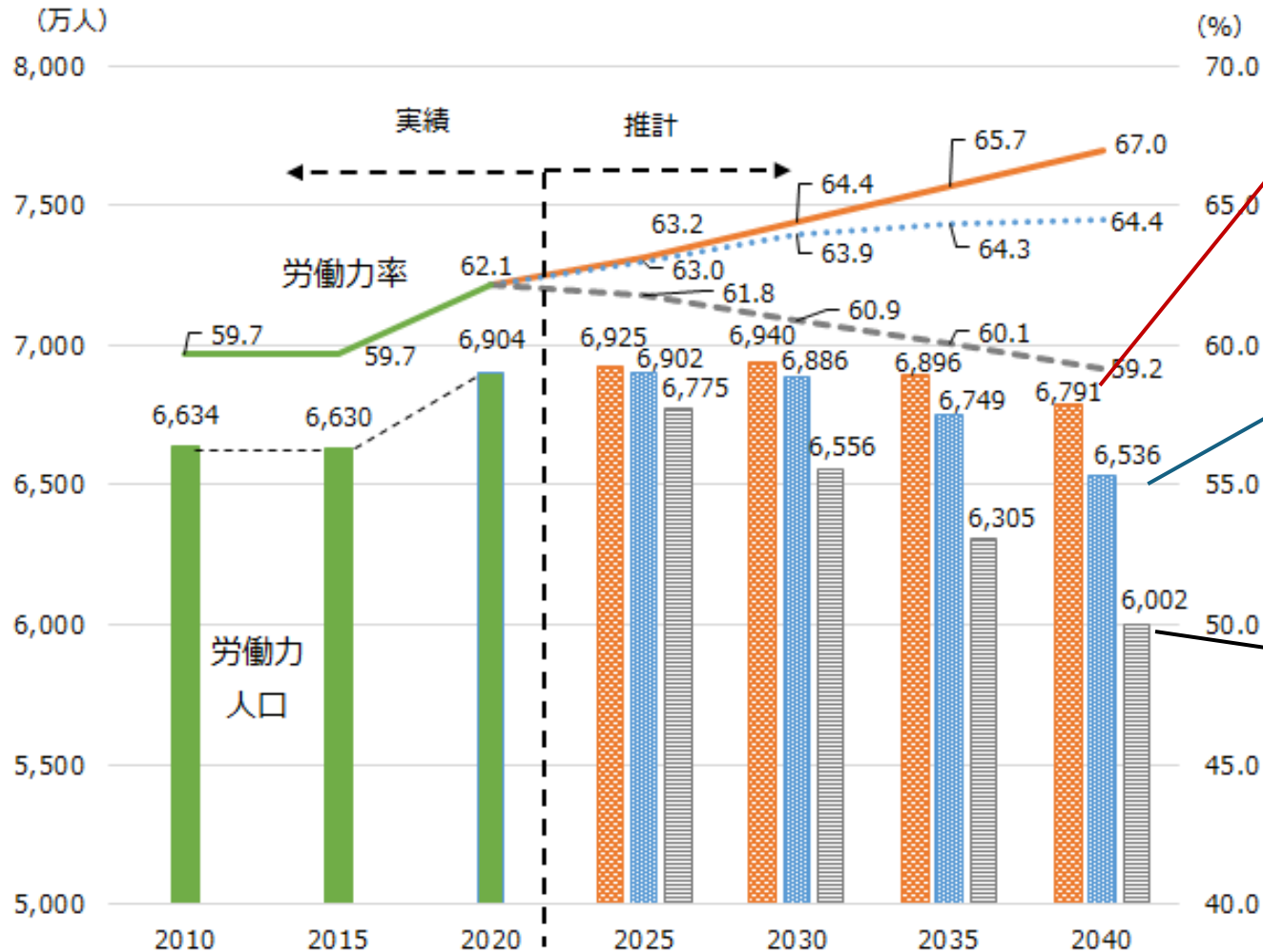
日本の労働力人口は、1998年のピークを境に減少傾向。しかし、近年の女性や高齢者の就業率上昇により、再び増加傾向。

2024年平均では6957万人に達し、過去最多を更新

(出典)公益財団法人ニッポンドットコム HPより
総務省データ参照



今後の労働人口は



成長実現・労働参加進展シナリオ

各種の経済・雇用政策を講ずることにより、成長分野の市場拡大が進み、女性及び高齢者等の労働市場への参加が進展するシナリオ

成長率ベースライン・労働参加漸進シナリオ

各種の経済・雇用政策をある程度講ずることにより、経済成長と女性及び高齢者等の労働市場への参加が一定程度進むシナリオ

一人当たりゼロ成長・労働参加現状シナリオ

一人当たり実質ゼロ成長の経済状況を想定し、労働参加が現状(2022年)から進まないシナリオ

■ 成長実現・労働参加進展シナリオ
■ 一人当たりゼロ成長・労働参加現状シナリオ

■ 成長率ベースライン・労働参加漸進シナリオ

(出典)独立行政法人 労働政策研究・研修機構
2023年度版 労働力需給の推計より



長年の勘違い

2024年までは労働人口は増えていました。

ピークは2025年～2030年

今後の採用は本当に**厳しい**



日本国内において今後すべきこと

今後も企業を存続・成長させるには

人**財**育成力**向**上

もちろん採用強化の継続も重要です



人財育成やるぞ！ってなる組織のよくあるGAP

昔

背中見て育て

今

タイパ



重要な事は時代に合わせて

教育DX

eラーニング

オンライン研修

OJT

LMS

対面研修

etc.

効果的に設計して実施 ブレンデッドラーニング



教育DXをすれば人財育成は成功するか？

eラーニングやLMSを導入しても
実際には効果があまり出ない(学ばない)

瞬間は良くても継続もしない
教育DXの落とし穴とは



職員教育DXの落とし穴

①学ぶ理由

②「知っている」と「できている」の違い

③タイムパフォーマンス



①学ぶ理由

コロナ前 学ばない理由No1

時間が無い

コロナ禍 学ばない理由No1

何を学んで良いかわからない

※調査対象には大手企業もあり、階層別研修がeラーニングで用意されていた

学ぶ理由がないこと



①学ぶ理由があると

オンボーディング ➡ 合流したての方は学ぶ

キャリア志向 ➡ 勝手に学ぶ

学ぶ理由がある(用意する)と学び始める

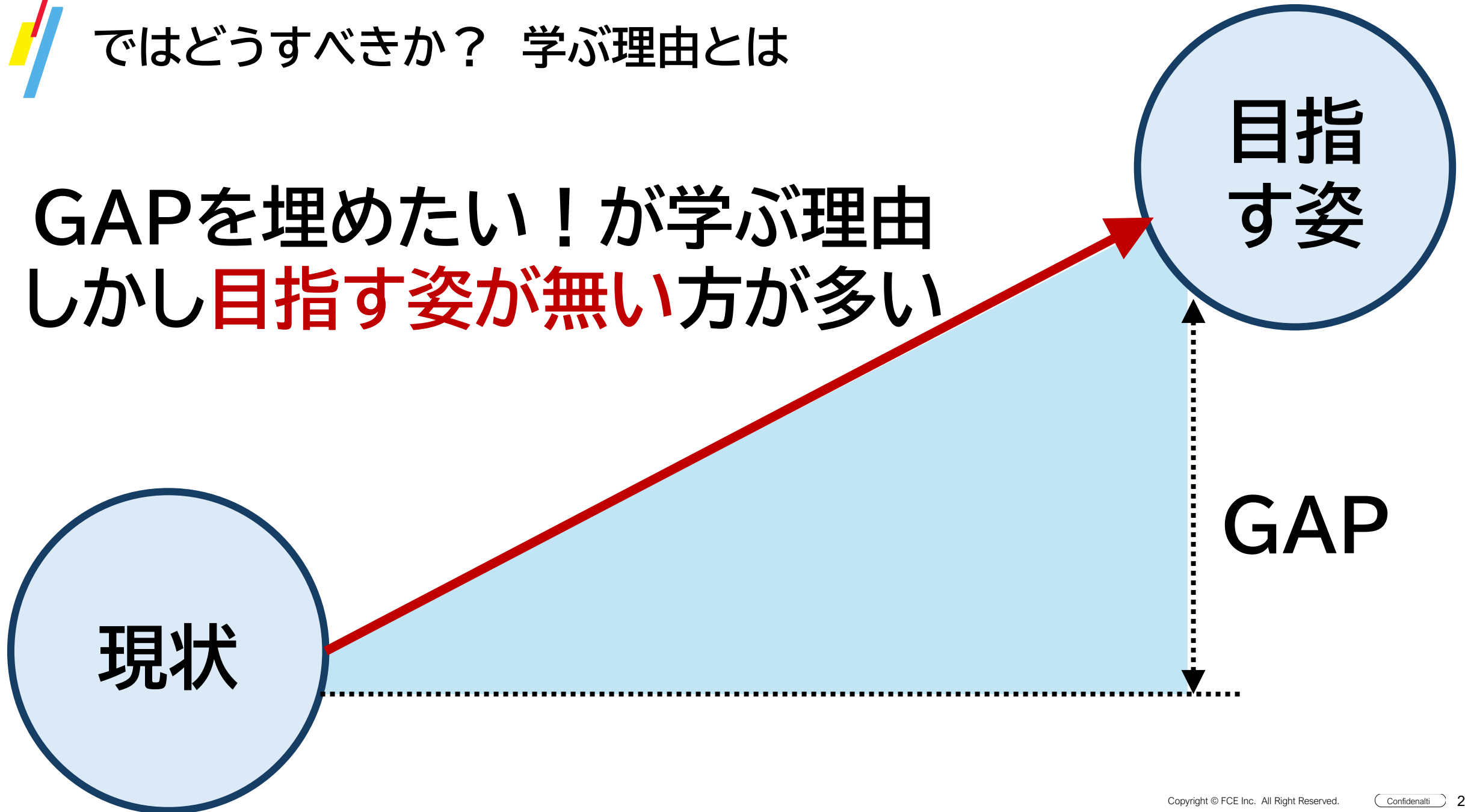
教育DX導入時の落とし穴①

学ぶ理由がある方が意思決定している



ではどうすべきか？ 学ぶ理由とは

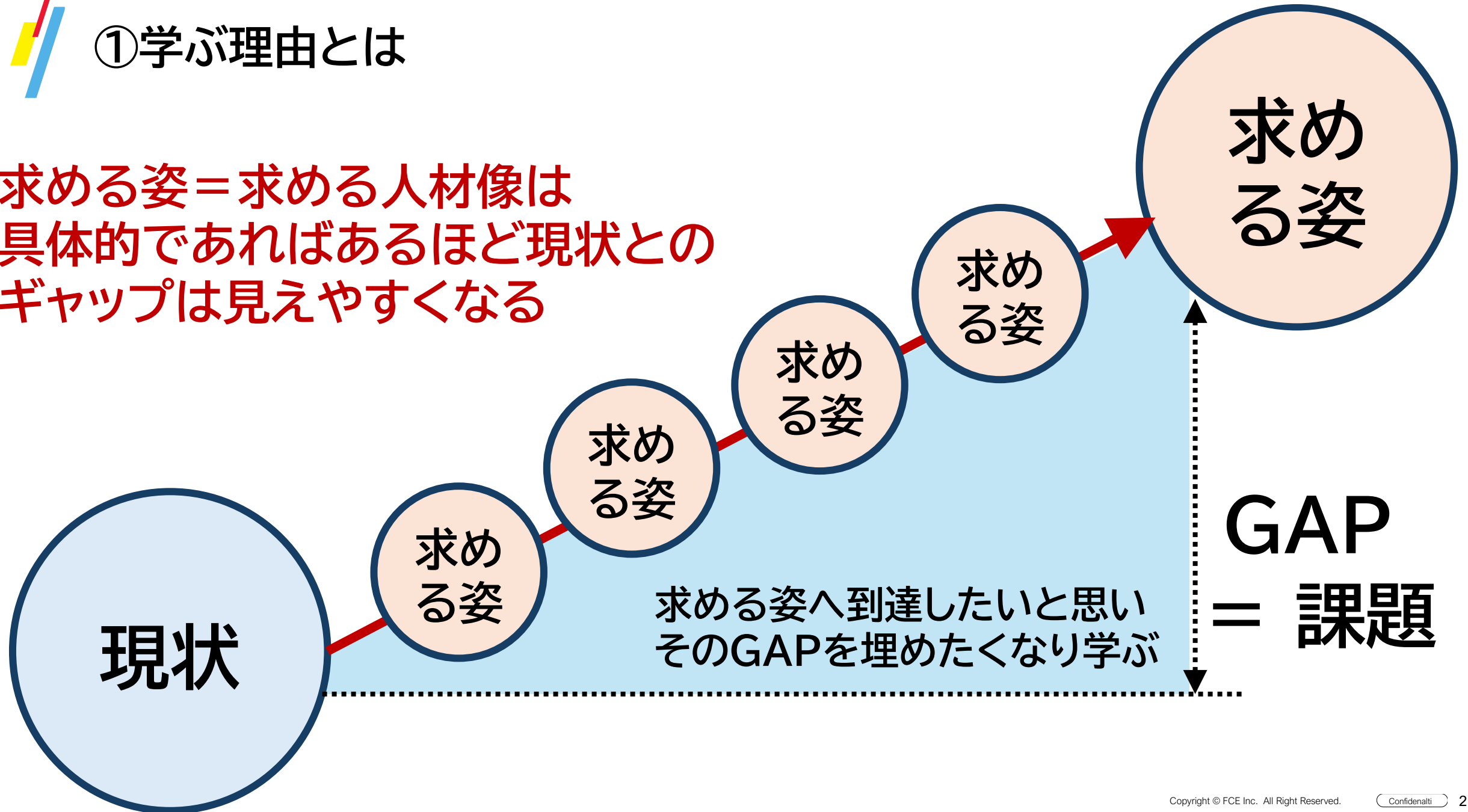
GAPを埋めたい！が学ぶ理由
しかし**目指す姿が無い**方が多い





①学ぶ理由とは

求める姿＝求める人材像は
具体的であればあるほど現状との
ギャップは見えやすくなる





②「知っている」と「できている」の違い

INPUT

OUTPUT

この繰り返しで「知っている」から「できている」に
故に**継続**する

※フィードバックも重要

教育DX導入時の落とし穴②
できている状態へ設計されていない



③タイムパフォーマンス

学ぶ理由を作り、「インプット・アウトプット」でできるような教育プログラムをブレンデッドラーニングで設計する

ここで**タイムパフォーマンス**を意識する

eラーニング	オンライン研修	OJT
LMS	対面研修	etc.

教育DX導入時の落とし穴③
手段が目的化されている



③タイムパフォーマンス

社員が

学びたいと思ったらいつでも学べる

わからないところだけ学べる



③タイムパフォーマンス

探し物やルールなどの調べ物に費やす時間

年間**550時間** **28%**

調べもの: $1日1.6h \times 年間労働日数245日 = 392h$

探しもの: 年間150hと言われている

年間労働時間: $8h \times (365日 - 年間平均休日120日) = 1960h$

ゆくゆくは社内AIチャットbotやAIアシスタント活用



3つの落とし穴を克服すると

教育DXが機能し
人財育成能力が向上する

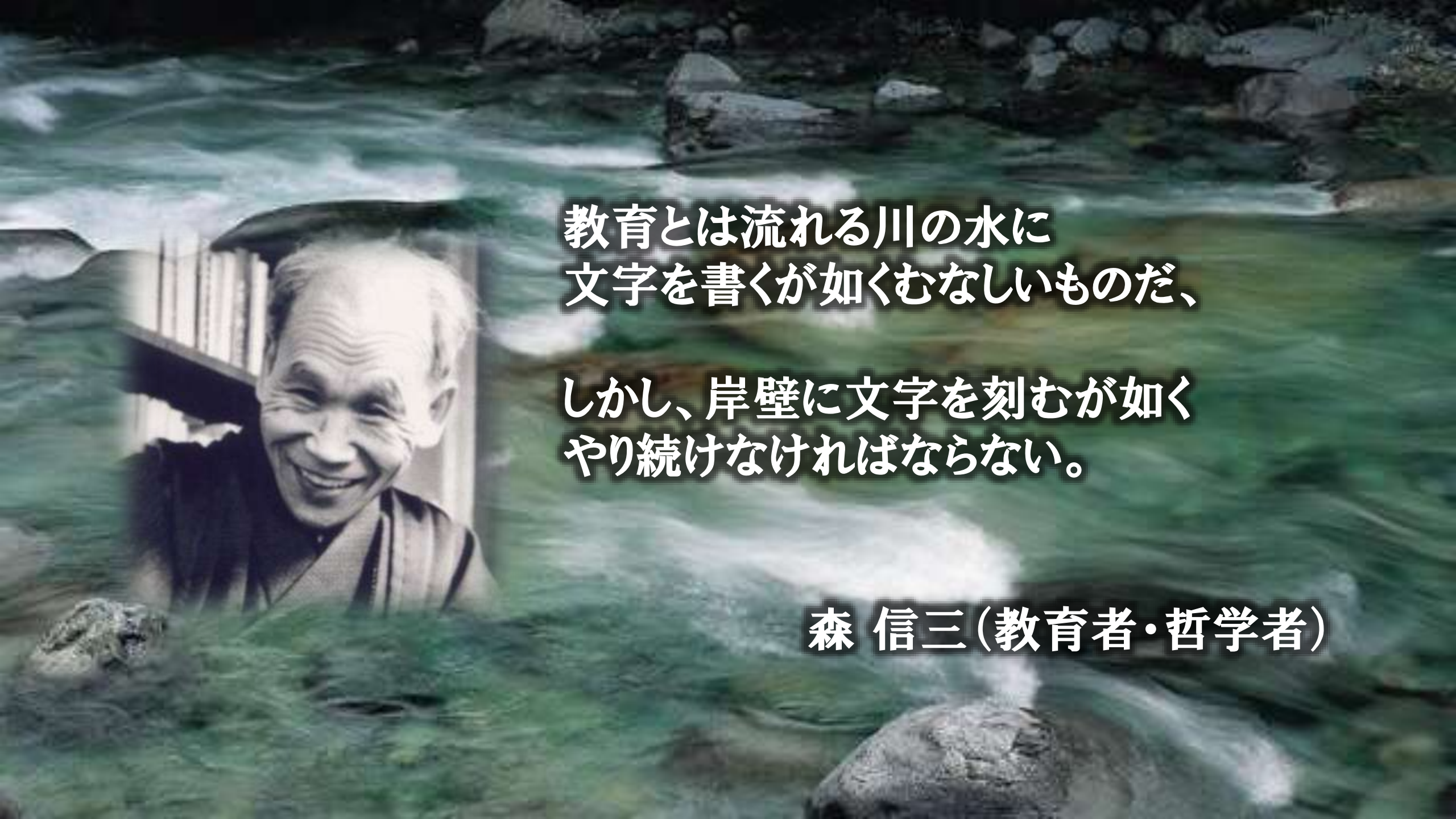


セレンディピティ

「予期せぬ偶然がもたらす幸運」や
「幸運な偶然を引き寄せる力」を意味する言葉

ハイパフォーマーが**教育から解放**

もちろん即戦力化も早くなり、教育の生産性があがります。
ただし最初(構築)は大変ですが・・・



教育とは流れる川の水に
文字を書くが如くむなしいものだ、

しかし、岸壁に文字を刻むが如く
やり続けなければならない。

森 信三(教育者・哲学者)



育成が上手なチームの共通項(もっとも大きな落とし穴)

ウルトラCのような奇跡的な育成手法など無い

諦めない・信じる事が成功の共通項

育成する側のマインドセットも重要な要素

本日の内容に関わる弊社サービスラインナップ



-職員教育DXプラットフォーム

導入社数1200社！OJTも階層別研修もeラーニングも「職員教育」をこれ一つで！
動画を見るだけでは終わらないeラーニング＋ライブ・アウトプット型オンライン研修も受け放題。
新入社員教育～管理職育成、コンプライアンス研修等幅広い内容。
多機能なLMSで学習管理/テスト・レポート/自社用コース作成可能。



ユーザーが選ぶ「最強ITツールランキング2023」で7300製品中1位を獲得
一人ひとりのPC業務を自分で自動化出来る「パーソナルRPA」
「プログラミング不要」×「コンサルティング」で、PC業務を自動化！
導入企業数1,500社を突破、お試しでの1カ月間無料トライアルもあり



組織全体で生成AIがなかなか活用できないメカニズムを分析し、最速で全体が活用できる最強ツール！プロンプトのテンプレートは100種以上、社内・チームで共有テンプレート管理もできる！

Smart Boarding導入事例セミナーのご案内

★ 経営者・役員・管理職の方向け

参加費無料 / オンラインセミナー

FCE

Smart Boarding

なぜ、同じeラーニングを導入しても
成果が出る企業と出ない企業があるのか？

3社のリアルな活用から見えた“成果を生む判断軸”とは？

 株式会社 FCE トレーニング・カンパニー事業本部
営業部副部長
中野 貴仁



さいごに

組織・人には**無限の可能性**があり、適切な環境と教育で
組織・人は**驚くべき才能**を開花させることができる

教育を
諦めないこと

社員の可能性を
信じること